



いわみ 議会だより

No.165

令和7年11月1日発行



よーけ とれたでー
昇運丸(網代漁港)

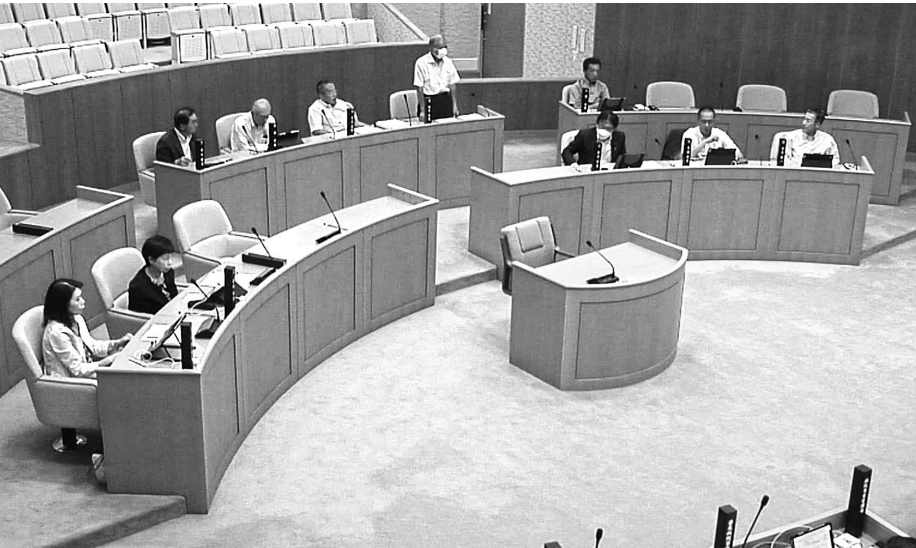
9月定例会

- | | | | |
|---|---------------|----|---------------------------|
| 2 | 議員報酬引き上げ可決 | 8 | 5 議員が町政を ^{ただ} 質す |
| 3 | 6 年度各会計の決算を認定 | 14 | 報酬引き上げを答申ー議会改革を期待 |
| 4 | 予算の使われ方をチェック | 16 | 県漁協網代港支所におじゃましました |
| 6 | 審議結果と賛否 | | |



議員報酬引き上げ可決

(14 ページをご覧ください)



議員報酬条例の一部改正を本会議で審議

9月定例会

9月定例会を、9月9日から18日まで10日間の会期で開きました。

6年度各会計決算など、23議案を原案通り可決しました。

また、議員発議による議員報酬引き上げの条例改正を可決しました。

主な議案の概要

いわみ道の駅出資金

1000万円

一般財団法人岩美町振興公社解散に伴う出資金の返還を受け、いわみ道の駅に出資金相当額の増資を行う。

いわみ道の駅には、特産品開発、岩美めぐみ館の指定管理、多面的支払交付金の広域組織事務局を移管している。

また、開業10周年を迎え、連携協定している道の駅との相互販売品拡充のためのブースも整備しており、道の駅の業務は拡大基調にある。

社会体育事務費

280万円増額

スポーツ大会派遣費補助金において、団体種目の全国大会出場が決まるなど当初予算を上回る見込みとなったことによる増額。

- ・卓球（岩美南小4年生・尾崎隼斗さん）全国大会
- ・野球（岩美イーストブル・23人）全国大会及

び中国大会
・バレーボール（岩美北スポーツ少年団・13人）全国大会

地球温暖化対策事業

14万円増額

再配達によって発生する温室効果ガス削減と、運輸事業者の負担軽減を図ることを目的とした置き配ボックス購入設置補助金の実績見込みに伴う増額。

- ・当初見込20万円（20件）
- ・実績見込34万円（35件）

農業収入保険加入推進事業

14万円増額

保険料率は本年度が改定の年になっており、大部分の保険加入者に対して保険料の増額が見込まれる。

県は物価高騰による収入減少に伴い掛け金の一部を補助することとしている。

県の補助にあわせて町独自にかさ上げを行う。

- ・39件を予定
- （県補助1／3）
- （町補助1／6）

6年度各会計の決算を認定

会計別決算額

(万円未満切捨て)

会 計 名	歳入総額	歳出総額	差 引 額
一般会計	78 億 0374 万円	76 億 3749 万円	1 億 6625 万円
代替バス運送事業特別会計	5682 万円	5682 万円	0 円
後期高齢者医療特別会計	1 億 8905 万円	1 億 8852 万円	53 万円
国民健康保険特別会計	13 億 0953 万円	12 億 9635 万円	1318 万円
介護保険特別会計	15 億 6166 万円	15 億 0939 万円	5227 万円
水道事業会計	2 億 3473 万円	2 億 3910 万円	△ 437 万円
下水道事業会計	4 億 3029 万円	4 億 1555 万円	1474 万円
病院事業会計	19 億 5367 万円	22 億 2946 万円	△ 2 億 7579 万円

注:水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は、損益計算書（税抜き）による。

決算審査の流れ

本 会 議 提案・質疑

付託

決 算 審 査 分科会での審査
特別委員会 報告↓
質疑・討論・採決

報告

本 会 議 質疑・討論・採決

一般会計決算

〔歳出〕

U・I・ターン推進事業

問 お試し住宅を利用した方で移住につながった例はあるか。

また、定住支援活動交付金はどういう活動に活用されているか。

答 6年度は1世帯2人の方が利用後に町に移住された。交付金は、移住された方を支援していただきたいという意味で自治会等に交付しており、移住者の歓迎会の経費として活用された例もある。

山陰海岸ジオパーク推進事業

問 本町独自の取り組みとその効果はどうか。

答 町独自事業として、ツアー商品に取り組んでいる事業所、団体に補助し、新たな海の魅力の造成を行っていた。

本会議での主な質疑

だいたいで観光客の受入態勢も向上している。

地籍調査事業

問 宅地の地籍調査の進捗率は99.8%であるが、残りはどういった箇所か。

答 当該箇所は唐川集落と大坂集落の一部である。現在、残りの箇所にも現地調査に入っている。

唐川のカキツバタ再生事業

問 再生の期間をどれくらいと予測しているか。

答 5年度において日照不足を解消するために周辺の樹木の伐採をした。併せて5年度から6年度にかけて、防鹿柵を設置し、7年度に水路整備の設計を行う。

その後、7・8年度にかけて水路工事を実施し、完了後、東屋などの周辺環境の整備を行っていききたい。

この事業は国庫補助を受けての実施となり、文化庁とも協議をしながら進めていくので容易には進まない部分もあるが、順次事業の進捗に努めていきたい。



柵設置後のカキツバタ観察会（唐川地区）

予算の使われ方をチェック

決算審査特別委員会

令和6年度の各会計の決算を審査し、7年度予算などに反映させるため、議長と議会選出の監査委員を除く議員9名で構成する決算審査特別委員会（森田洋子委員長）を設置しました。

この委員会は、総務教育、産業福祉の両分科会で分担して審査し、各分科会委員長の報告をもとに決算全体の審査を行いました。

その結果、いずれの決算も認定すべきものと決定しました。

決算審査報告書（HP参照）のうち主な質疑・意見を掲載します。

一般会計

【歳入】

問 町税の徴収状況で徴収率が減少した要因は。

答 厚生労働省の統計によると賃金上昇よりも物価高が上回っている状況である。

実質賃金は3年連続のマイナスとなっており、昨今の物価高騰により、生活が苦しく税金を支払う余裕がなくなっているのではないかと推測している。

問 今後の徴収対策をどう考えるか。

答 歳入の確保という点から法令に基づいて滞納処分を行っていかねばならない。

やむを得ない事情により納税が難しい方などは、福祉部門と連携しながら一人一人の実態に合わせて対応したい。

意見 不納欠損について、法令に基づいて適正に処理すべきだと思うが、滞納繰越をする徴収が極めて困難となる

ため、現年度中の納付勧奨を強化すべきだ。

ふるさと岩美まちづくり寄附金について

問 寄附額が3年ぶりに1億円を超えた。

田後公園転落防止柵改修事業の財源としてクラウドファンディング型ふるさと納税が成功したが、他の事業における活用の可能性はどうか。

答 地域猫の不妊去勢手術に対する補助金や岩美駅の賑わい創出に向けた取り組みなどさまざまな場面で活用できないか検討している。



クラウドファンディングで柵を改修（田後公園）

【歳出】

出産・子育て応援事業

問 伴走型相談支援のアンケートの内容と対応はどうか。

答 アンケートは出産に向けての気持ちや、気になることなどを聞いており、内容ごとに、保健師や助産師などが訪問や電話で相談に応じ、支援を行っている。

保育所ICT推進事業

問 システム利用に関する保護者アンケートでは高評価を得ているが、具体的にどのような内容となっているか。

答 アンケートは、登降所管理、欠席・遅刻連絡の利便性について、保護者の満足度を確認している。

また、保育所便り・給食便りの定期配信機能、緊急連絡配信機能など、順次、情報共有可能な機能の運用を始めており、より良い運用となるよう努めたい。

捕獲個体運搬処分事業

問 一時保管施設の利用状況および運搬実績などはどうか。

答 6年度はシカ捕獲頭数の概ね6割が当該施設へ持ち込まれ、他県のペットフード加工施設へ運搬を行った。

基本週1回、町所有の運搬車で運搬しており、保管庫および運搬車のコンテナの容量についても現在のところ問題はない。

町道新設改良事業

問 町道路橋長寿命化修繕計画の進捗の状況はどうか。

答 計画対象となる橋梁は46橋あり、修繕すべき状態の橋が22橋で、6年度末現在、修繕が完了した橋が18橋、残りの4橋については、7年度に2橋、次年度以降に2橋の修繕を予定している。

空家対策事業

問 現在の空家及び特定空家の軒数はどうか。

また、特定空家に至らないよう対策をどう行つか。

答 3年度の全町を対象とした空家調査では462軒であったが、その後、取壊しや利活用されたものと、新たに把握したものを合わせて560軒を把握しており、そのうち特定空家は7軒である。

対策としては、特定空家の予備軍である管理不全空家を行政指導できるような法改正があり、町としても対応を検討したい。

歳出全般について

意見 歳出の不用額については、社会情勢の変化や気候変動などによる要因とともに、経費削減に職員が努力した事業もあるのではないかと。

代替バス運送事業特別会計

問 先行事例を研究し、交通弱者といわれる方の移動手段を確保する取り組みが必要であると考えますが、町の方針はどうか。

答 運転手の確保など困難な状況になることが予想される。

自動運転技術の確立などに期待をしながら他団体の好事例も参考にし、移動手段の確保に努めていきたい。

後期高齢者医療特別会計

問 介護予防基本チェックリストで運動機能の低下・閉じこもり傾向の者を対象とした筋力アップ教室の取り組みは、

答 フレイル状態を把握するため、握力など6種類の体力測定を実施し評価するとともに、自らの健康への関心・運動継続の習慣を持つことの必要性や自宅で可能な運動に関する講話などの健康教育を行っている。

国民健康保険特別会計

問 健康保険証の新規発行は終了となったが、マイナ保険証の利用状況はどうか。

答 マイナンバーカードの7年8月末の保有率は、県が81・9%で本町は79・9%、国民健康保険のマイナ保険証利用率は、7月の数値で、県が

40・2%、本町は37・4%である。

意見 特定健診の受診率を向上させるには、受診歴のない方に対し健康への関心をいかに持ってもらったことが重要であるが、行政による啓発のみでは限界があるので、医療機関や医師会のアドバイスや意見を取り入れた取り組みが必要である。

介護保険特別会計

問 介護予防普及啓発事業「eスポーツ体験会」はどうか。



e スポーツ体験会 (すこやかセンター)

答 岩美すこやかセンターまつりで、認知症予防やフレイル予防に効果のあるeスポーツ体験会を開催した。

老人クラブの方や中学生など多くの方に楽しみながら体験していただいた。

水道事業会計

問 管路の耐震化の進捗状況はどうか。

答 基幹管路の耐震化率は6年度末現在39%となっており、8年度末時点で42%を目標に事業を進めている。

病院事業会計

問 病院経営について消費税の影響はどうか。

答 収入で受け取る仮受消費税額は、約1000万円である一方、病院が支払う仮払消費税額は、約8000万円と大きな負担となっている。

また、診療報酬が非課税となっているため、この仮払消費税は、控除対象消費税とならないため、確定申告により、

さらに毎年数百万円の支払いが生じている。

問 医療従事者の確保はどうか。

答 医師については、常勤の医師の確保が困難なため、県からの派遣を依頼しており、引き続き県への働きかけを行う。

看護師については、一定数を確保できている。

薬剤師については、近年採用に至っていないが、院外処方移行後も現行の3人体制は確保したい。

意見 現在の病院の規模は、町の人口が多かった時代と同じであり、見直しが必要な時期に来ている。

地域医療構想で医療機関の連携・再編・集約化の議論が行われると思うが、その流れに押し流されることなく、町民が必要とする病院とはどういうものか考えなければならない。

意見 患者増など収益増の取り組みが議論となるが、経費の削減も必要である。

8月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認した議案等】

議 案 名		議 案 名	
補正	7年度一般会計補正予算（第3号）	議会	議会運営委員会委員の選任

9月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、認定、同意した議案等】

議 案 名		議 案 名	
条例他	議会議員及び長の選挙における選挙運動の町費負担に関する条例の一部改正	6年度決算の認定	一般会計
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正		代替バス運送事業特別会計
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正		後期高齢者医療特別会計
	町道路線の認定		介護保険特別会計
補正	7年度一般会計補正予算（第4号）		下水道事業会計
	7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		病院事業会計
	7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	議会	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
	7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		総務教育、産業福祉常任委員会の行政事務調査
	7年度下水道事業会計補正予算（第1号）		少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出
	7年度病院事業会計補正予算（第1号）		「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出
人事	町教育委員会教育長の任命同意		保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書の提出
	町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意		総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査
	人権擁護委員候補者推薦（3件）		

【賛否が分かれた議案】

提出者	議 案 名	審議結果	賛否の状況
町長	6年度国民健康保険特別会計決算の認定	可決	反対：升井祐子・田中克美
町長	6年度水道事業会計決算の認定	可決	反対：田中克美

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情書 提 出 者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 大黒 晃嗣 外1名	採択	全員一致	—
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情について 提 出 者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 大黒 晃嗣 外1名	採択	全員一致	—

保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書 提出者：鳥取の保育を考える会 代表者 石井 由加利	採択	全員一致	—
保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書 提出者：鳥取の保育を考える会 代表者 石井 由加利	不採択	(採 択) 田中克美 升井祐子 (不採択) 田中伸吾 森田洋子 宮本純一 寺垣智章 柳 正敏 川口耕司 澤 治樹 足立義明	国は他の経営主体とのイコールフティングの観点及びこども未来戦略に基づく保育人材確保の状況などを踏まえて検討しており、また、国の方針に基づき対応すべき案件であるため。

討 論

国民健康保険特別会計決算の認定

反対 (田中克美議員)

(可決)

マイナナンバーカードと健康保険証の一体化について、予算計上当時、世論の圧倒的多数が保険証の廃止の撤回、延期を求める声を上げていたが、その声を無視し予算が計上され、執行された。

賛成 (柳 正敏議員)

本議会で認められた予算のもとにさまざまな法令に適正に対応されるなかで取り組まれた決算の結果であった。

この決算報告は、担当分科会、決算審査特別委員会慎重審査され適正であると認められた決算であり、認定されるべきものと考えてる。

水道事業会計決算の認定

反対 (田中克美議員)

(可決)

飲料水は人が生存するための最も基本的な条件であ

り飲料水に課税するということは、最低限の生計費には課税しないという原則に著しく反するものと考えてる。

賛成 (柳 正敏議員)

本議会の議決後に予算の範囲内、また、法令等に従い取り組まれた決算の結果であり、担当分科会、決算審査特別委員会慎重審査され認定すべきものとして決定された。

決算審査特別委員会の決定を重んじるべきであり、消費税についても法律に基づいて課税している。

法治国家である以上は当然のことである。

保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書

(不採択)

採 択 (田中克美議員)

社会福祉施設職員等退職手当共済制度が昭和36年に創設され、国は「社会福祉事業の一翼を担う民間社会福祉施設では、その職員の給与その他の待遇面で公立

の社会福祉施設の職員に比較して格差があり、必要な職員の確保や資質の高い職員の定着化が図られないという実情があった。

給与については、徐々に改善が図られていたが、退職金についてはこれを積み立てる財源がなく、また、小規模な施設が多いことから、独自の制度を設置することが困難な状況であった。」と述べている。

こうしたことから、「待遇改善により、職員の身分の安定、質の高い人材の確保を図るため」制度が創設された。

現在、子育て支援の重要性がとらえられている一方、担い手である保育士の確保の困難が続いており、そのため国も処遇改善を進めようとしている。

民間社会福祉施設に対する公的助成の継続は不可欠であると考えてる。

人 事

(敬称略)

教育委員会教育長の任命に同意しました。

任期は、令和7年10月14日から3年間で。

大西泰博(陸上)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

任期は、令和7年10月1日から3年間で。

山崎加代子(浦富)

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

任期は、令和8年1月1日から3年間で。

(順不同)

平家陽子(浦富)
澤 宗樹(大谷)
岡本良恵(浦富)

一般質問

5 議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

9月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）	
升井祐子	9	1 今後の熊対応について 2 全国学力調査の結果と課題について 3 外国語指導助手 ALT の活用について	
森田洋子	10	1 公共施設のWi-Fi環境の整備について 2 野良猫対策と地域猫活動の推進について	
寺垣智章	11	1 今後の町政発展への展望と町長の進退について 2 町の震度計について	
川口耕司	12	1 地域農業の将来を描く地域計画で見えた諸課題について 2 水田活用の直接支払交付金における5年水張ルールの変更について	
田中克美	13	1 町内産米の増産の見込みについて 2 排外主義を広げないことについて 3 学校図書館の役割について	

- ・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。
- ・会議録は、12月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。
- ・QRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

学力調査の結果と今後の課題は

升井祐子議員

学校間で連携し授業改善へ、家庭の協力も

大西教育長



升井祐子議員

升井 7月14日、小学6年生と中学3年生を対象に文部科学省が全国学力・学習状況調査を実施した。

結果はどうだったか。

教育長 小学校・中学校ともに全国平均を下回っており、特に中学校の数学は全国平均より17・3%低い結果となった。

升井 一方、「自分にはよいところがあると思うか」「先生はあなたのよいところを認めてくれるか」の問いに、本町は他に比べ肯定的な回答をしていて、教員の皆さんの

日頃の生徒への愛情が成果につながったと思う。

これらの結果に対し、今後どのような取り組みを行っていくのか。

教育長 学校間で連携した授業改善に取り組む。

家庭学習については、町共通の手引きを参考に指導する。

また、小・中学校ともに、地域の大人の方々の関わりへの子どもたちの感謝の声が、県、全国に比べて10%以上も上回る結果が出ている。

今後子どもたちの成長を温かく支えていただけたらありがたい。

※A・L・T導入の英語教育の効果は

升井祐子議員

英語力の向上や国際理解に手応えは感じている

大西教育長

升井 小学校の英語教育の学習目標、授業の内容や現状は。

長戸町長 保育所から小学校、中学校と約10年間にわたる英語の力を高めて、中学校を卒業時には英語で会話できる子どもたちを育てたい。

教育長 外国語活動は2年度より小学3年生から必修となった。

日常的に英語に触れられるよう、A・L・Tを採用している。また、A・L・Tは英語以外の授業にも児童支援として参加をしている。

升井 7年度には4名増員し、計8名を任用した。

A・L・Tが児童・生徒に直接教える意義は何か。

教育長 生きた英語を児童・生徒に提供でき、コミュニケーションを取るのに英語で

話したり書くことが、英語学習への意欲向上にもなる。

また、A・L・Tとの触れ合いや学習を通して、その国の歴史や文化、考え方などに触れ、子どもの頃から多様な国際理解や他者理解が進み、伸展する国際社会の中で外国の方とも協働・共生し活躍できる人材育成につながると考える。

升井 A・L・T導入の効果や国際理解教育への貢献度はどうか。

教育長 英語力の向上や一層の国際理解につながる兆しや手応えは感じている。

今後も取り組みを進める中で、より確かな効果の検証方法についても研究してみたい。

※A・L・Tとは

小・中・高に配置される外国語指導助手のことです。

教員の助手として、外国語の授業に携わります。

その他の質問

今後の熊対応について



国際理解を深める子どもたち（北小学校）

公共施設のWii-Fi整備を急げ

森田洋子議員

9地区公民館の活動場所に整備したい

長戸町長



森田洋子議員

セスポイントが設けられている。

森田 地域のイベントなどを行う地区拠点の公民館にはWii-Fi環境の整備が重要と考える。

Wii-Fiの必要性をどう考えるか。

森田 全国の公共施設におけるWii-Fi整備は、住民サービスの向上、観光産業の活性化、災害時の情報収集強化など、前向きに進められている。

本町の公共の無料Wii-Fiはどの程度整備されているか。

澤総務課長 常時利用可能な中央公民館と避難所開設時に利用可能な3小学校及び小田、蒲生の地区公民館と若美町観光会館の7ヶ所を整備している。

また、浦富第1駐車場ほか5ヶ所に県の整備によるアフ

対策強化と自助の意識徹底が欠かせない日常だ。
緊急避難場所となるところの整備は。

町長 3小学校、蒲生の一寸法師の館、小田の基幹集落センターは指定避難所であり、災害時のWii-Fi環境は整っている。

それ以外の指定緊急避難場所は屋外もあり、全ての整備は考えていない。
災害時のWii-Fi環境は建物の中のための対応としたい。



研修でWii-Fiを使う（中央公民館）

TNR活動にクラウドファンディングを

森田洋子議員

費用が支弁できる仕組みを研究したい

長戸町長

森田 3年9月定例会で野良猫対策と地域猫の考え方について質問したが、4年が経過するも現状は猫の頭数が増えている。

多くの町民の方から困っているとの相談を受ける。

野良猫を捕獲し不妊去勢手術を行い、元の場所に戻すというTNR活動がある。

県内では足りない手術費用をクラウドファンディングされて活用している団体もある。

行政がクラウドファンディングを活用し、手術費用を支援することはどうか。

町長 本町が支援している不妊去勢手術の補助は1万円である。

手術に3万円近くかかる場合もあり負担も多い。

例えば本町がクラウドファンディングを行い、不妊去勢手術にかかる費用を全額支援

する場合、動物病院と町が直接契約してお支払いをする。
また、町民には捕獲し、手術を行い、元の場所にもどしていただくことをお願いをする。

このように、費用は町が回していく仕組みを研究してみたい。



地域でくらす手術後のねこちゃん

町長選挙への進退を問う

寺垣智章議員

2期目をめざしたい

長戸町長



寺垣智章議員

町民の健康管理と介護予防、病院の健全運営など、各課に課題と問題がある。

寺垣 その課題を克服するための取り組みをどのように考えるか。

町長 一朝一夕では解決できない。

限られた財源と人材を活用し、町民や議会と課題の優先順位をつけながら順次取り組み解決を図りたい。

寺垣 町長は1期4年間でやり残したと思うことはあるか。

町長 町長選挙で掲げた公約は何らかの対応はできたと思う。

課題がすべて解決できたわけではないが、自分がやり切れる部分はやり切れたと思う。

寺垣 町長に就任されて以来、さまざまな課題に取り組み、町政発展に尽力してこられたが、さらなる町政発展を考えると課題はまだ多くあると考える。

現在町長は、さらなる町政発展への課題をどのように考えているか。

町長 人口減少対策の課題、防災対策とデジタル化、健全な財政運営と空き家対策、町営住宅の更新、子育ての拠点施設整備、地籍調査と公平な税金徴収、いじめや不登校の解消、産業の振興と商工業の維持発展、下水処理場の問題、

寺垣 今までの質問を通して町長選挙への進退を伺う。

町長 何をめざし何を解決していくのか、自身の施策が町にとって良いことが自問自答し、残り3カ月となった今、進退を明らかにする必要がある。

町民の皆さんの負託がいただけなのであれば2期目をめざしたい。



人口減少対策は一丁目一番地（すくすくひろば）

寺垣 地震発生時に町の震度は近隣自治体と比べ小さく発表される傾向にあると考える。

何か原因があるか。

町長 気象庁が定める震度計の設置環境基準に基づき、土地の形状や地盤、周辺の環境や地下の埋設物などを考慮し、周辺の地盤と一体となつて振動する場所を選定の上、強固な材質や構造を用いることとされており、この基準をふまえて気象庁が設置しており原因はない。

寺垣 震度が小さく観測されることにより、道路や水道管などのインフラへの被害に対する、国や県からの支援に影響はないか。

町長 影響はない。

寺垣 今後、さまざまな影響

震度計の移設の検討を

寺垣智章議員

気象庁の判断で設置されている

長戸町長

を考慮し、近隣自治体の事例の研究や、移設の申し入れなどを検討しないか。

町長 震度計は気象庁の設置基準に基づき設置されており、町の意向で移設されるものではない。

現在は気象庁の判断によって適切な場所に設置されていると考えている。

10年後耕作者がいない農地はあるか

川口耕司議員

耕作者のいない農地がないよう取り組みを進める

長戸町長



川口耕司議員

か。

杉本農林水産課長 地域計画の目標地図に掲げた農業者で、個人の方は70名、そのうち65歳以上51名、耕作面積は124haである。

川口 国の分析によると、10年後の地域計画に定める担い手を確保できない農地が33%あり、多くの地域で将来の農地利用の姿が明らかになっていないと公表している。本町の現状はどうか。

町長 策定は期限内で終わった。

本町の地域計画では、10年後に担い手が確保できていない農地は28%だ。

川口 高齢な農家が耕作者に位置づけられている農地及び将来的に規模縮小の意向がある農家の耕作地の状況はどう

いということがないよう利用調整を行っていただくことが必要だ。

10年後、耕作者がいない農地がないよう進めたい。

川口 担い手とされている認定農業者、また、農事組合法人、集落営農組織、農業法人、農地中間管理機構を通して農地の借受けを行っている方がいるが、今後経営規模拡大、現状維持、縮小など考えている方もいると思うが、現状はどうか。

農林水産課長 地域計画の作成に当たり、意向調査を行った。

内訳は将来的に規模拡大14件、現状維持33件、縮小又は廃業18件、無回答1件であった。

縮小、廃業の方の耕作面積は25haであり、規模拡大予定者の範囲内で対応できる。

川口 国は今後、担い手への集積率、農地を団地のようにまとめる集約化や圃場の大区

画化、スマート農業技術の導入を進め効率的に進めていく方針を出しているが、本町の現状を見据えて見解はどうか。

町長 圃場の大区画化など、農家に新たな負担を求めるのは難しい。

中山間地でのスマート農業については、農業者と一緒に研究したい。

川口 地域計画を作れば本当に10年後の農業を守るのかと疑問の声も聞かれたが、農業振興と地域計画にかける意気込みはどうか。

町長 農業は町の基幹産業の一つである。

現状のまま次の世代に渡せるよう取り組んでいくことが必要だ。

引き続き農地を守っていくため、国や県の制度を活用し、町としてできる支援に取り組んでいきたい。

その他

水田活用の直接支払交付金における5年水張りルールの変更について



中山間地の圃場（横尾の棚田）

価格保障や所得補償を国に求めよ

田中克美議員

要望することは町の責任だと思う

長戸町長



田中克美議員

うがどうか。

町長 国は、農業が産業として成り立つ仕組みを作るべきだと思う。

次世代につながることに、町の施策の重点をおく。

田中 石破首相は米を増産すると表明したが、農水省が掲げる来年度事業は、相変わらず農地の大区画化、スマート農業の加速化などで変わらない。

町内生産者が増産の意欲を持てると思うか。

町長 米を作り続けることができる環境整備が基本にないと、飯米農家、販売農家とも、生産意欲につながらないと思う。

田中 水田の維持、復活、耕作の継続と生産者を増やすことに、取り組むべき時だと思

学校司書の処遇改善を検討すべき

田中克美議員

国の交付税率が低く財政的に厳しい

長戸町長

田中 外国人に対する排外主義を調べる中で、子どもたちがデジタル社会を生きるために、情報を判断し活用する能力を身に着けることが大事だ

と思い至った。
子どもたちがその能力を養う学校生活の中でも、図書館と学校司書の活動が重要だ。

「司書は近い将来A-1が担う」という声もあるが、A-1は、収集する情報はインターネット上の情報である、情報の誤りやフェイクを判別で

きない、という重大な限界をもっている。

そもそも一人ひとりが違う子どもたちへの対応は、人間でないとできない。

学校図書館と学校司書はかけがえない存在だ。
教育長の認識は。

大西教育長 学校図書館は情報活用能力を育成するうえでも重要、学校司書は、専門知識を生かして学びを直接、間接に支援する重要な役割を担

う存在だ。

田中 学校司書は会計年度任用職員が圧倒的に多い。

専門職として、学校図書館の活用を充実させる仕事がおきなくできるよう、処遇改善を検討すべきだ。

町長 財源の交付税率が低く財政的に厳しい。

昨年9月議会で質問に答弁したように、国が示すマニュアル通りに任用回数を制限しない運用をおこなっていきたい。

その他の質問
排外主義を広げないことについて



子どもたちの成長にかかせない学校図書館
(北小図書館)

特別職報酬等審議会の答申と改定した議員報酬額

○特別職報酬等審議会の答申結果（一部抜粋）

議会が自ら議員報酬を見直し、算定した報酬月額については、町民との意見交換の結果を踏まえ再算定したことで、町民の意見が十分に反映されていると考え、附帯意見でも触れているが、さらなる議会改革の推進を期待し、全会一致により、議会が提示した報酬月額を妥当であるとの結論に達した。

○岩美町議会議員報酬

（改定前）

役 職	報 酬 額
議 長	336,000 円
副議長	250,000 円
委員長	239,000 円
議 員	229,000 円



（改定後）

役 職	報 酬 額
議 長	381,000 円
副議長	293,000 円
委員長	280,000 円
議 員	259,000 円

附帯意見を受け止め、さらなる改革に取り組みます

審議会の附帯意見「さらなる魅力ある議会に向けて」

議員のなり手不足は単に議員報酬が低いことのみをもって生じているものではなく、議会のさらなる魅力向上と議会だより（No.141号）に掲載されている「議員と議会の自己改革」のなかの「検討する課題」を着実に進めることが必要と考える。

①一層の意見交換会を進めて町民の声を行政へ反映させていただきたい。

また、議会改革を図られるにあたっては、町民と意見交換をしながら進めていただきたい。

②さらなる議会の見える化を図りたい。

③一般質問で、議員が地域で聞き取りをした町民ニーズや行政への要望などを取り上げることによって、町民との距離が縮まり政治への信頼感がより高まる。

一般質問のさらなる活発化を期待する。



9月定例会で議員報酬改定に伴う条例改正を可決し、
10月1日から報酬額が引き上げとなります。

議員報酬月額を10月から3万円引き上げ

議会のあり方を考える公開研修会を開催

町議会は令和7年8月30日（土）、初めての公開研修会を中央公民館で開催。

「開かれた議会」をめざした取り組みの一環として公開することにしました。

町民の方など約40名が参加されました。

研修では、地方議会に関して著名な江藤俊昭氏（大正大学教授）を講師に迎え、「これからの議会について」をテーマに、議員のなり手不足が懸念されているなかで議員のなり手の創出、議会の役割や活動、議員報酬のあり方など、あるべき議会の姿についてご講演いただきました。



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

報酬改定をふり返る

1. 議員報酬の見直しにあたっての問題意識

町議会は、①合議により意思決定するにふさわしい議員数が選挙で選出されること、②町民の負託にこたえる活動をする、ことが求められます。

本町では、平成 22 年の町議会議員の選挙で、はじめての無投票となりました。また、選挙になっても少数立候補の傾向が続き、地方自治の将来が危ぶまれる事態と捉えることが必要ではないかと考えました。

そこで、議会活動の在り方検討特別委員会（以下、在り方委員会という。）では、開かれた議会、政策提言、活発な審議など活動内容の改革とともに、議員報酬もなり手を増やしていくための環境の一つとして捉え、報酬の決め方についても検討しました。

報酬の見直しについては、議会自らが報酬額を算出し、町民との意見交換会で意見を聞き、町民意見を反映して必要な再算定を行い、特別職報酬等審議会に諮問する―県内でははじめての取り組みに挑戦することとし、進め方を議会だよりで公表することにしました。（議会だより 161 号 163 号 164 号参照）

2. 議員報酬の見直しにあたっての算定方法

- (1) 在り方委員会で議員報酬の見直しを検討するなかで、全国町村議会議長会が提唱する「活動内容を踏まえた原価方式」が最も合理的であるとの結論に至り、これを算出方法として採用することとしました。
- (2) 算出にあたって比較する対象は、議員と同じく町民の直接選挙で選出される町長とし、その活動量、給料月額を基準としました。

計算式：議会・議員の活動日数÷町長の活動日数×町長の給料月額＝議員報酬月額

令和 5 年度議員・町長の活動日数を原価方式の計算式に数値を当てはめた報酬月額は次のとおりです。

$106 \text{ 日} \div 303 \text{ 日} \times 824,000 \text{ 円} = 288,264 \text{ 円} \div 29 \text{ 万円}$

原価方式に基づき算出した報酬月額 29 万円を町民に提示し、意見交換会を行うことを在り方委員会で決定しました。

3. 町民との意見交換会

町民との意見交換会を令和 6 年 10 月から令和 7 年 2 月まで地区自治会、岩美まちづくりの会、小・中 PTA 役員会などを対象に計 6 回実施し、全体で 95 名の方が参加され、ご意見をいただきました。



町民との意見交換会

4. 意見交換会を踏まえて議員報酬額を再算定

町民との意見交換会を踏まえて、議員報酬月額 29 万円の再算定などについて次のようにまとめ、特別職報酬等審議会に諮問しました。

①「現行の報酬額は引き上げるべきだが、一気に 29 万円に引き上げることは町民の納得を得ることが難しいであろう。」「段階的に引き上げることが適当。」というのが大方の意見であった。したがって、提示した算定額 29 万円を見直し、引き上げ額として 3 万円アップの 25 万 9 千円を提示する。

②第一段階の引き上げは今期任期中の早い時期（9 月議会で議決）をめざす。

③議長の報酬額について、当面は議員の報酬月額を 1 とした現行の比率で算定する。

④副議長、常任委員長（議運委員長含む）の報酬月額については、次のように算定する。

委員長については、政策活動など議会改革をさらに推し進めるにあたって常任委員会を取りまとめるなど、その責務がこれまで以上に重要となるため役職手当に相当する部分を加算する。

副議長については、委員長とのバランスを考慮し役職加算する。

9月26日(金)に鳥取県漁協網代港支所におじゃましました。
網代港支所では

県漁協副組合長
網代港底曳船主会長
網代港支所長

板倉 寛寿 さん
板倉 高司 さん
博田 幸史 さん

にインタビューし、漁業の現状、漁業を取り巻く課題などいろいろなお意見・ご感想をいただきました。



板倉 寛寿 さん



板倉 高司 さん



博田 幸史 さん

Q 今年の漁業の状況は？

A 9月に入ってから近年に比べてハタハタがよく獲れて好調の気配だ。このまま豊漁が続いてくれることを願っている。

Q 漁業の課題として後継者問題は？

A 厳しい仕事なので船に乗っても直ぐに下船する者が多く後継者を育成するのは難しい。網代だけでなく他の場所でも外国の研修生を雇用することで漁業が成り立っている。継承していくにはこれからのリーダーとなってくれる若い人たちの育成が必要で、若いリーダーと外国の研修生の両輪が上手くまわることで、スムーズに世代交代ができると考える。

Q その他課題などは？

A 昔は新規の漁場を開拓できていたが、物価高騰で燃料もかなり上昇しているため、新たな開拓は困難で、今は確実に漁獲できる場所では漁業ができない。また、漁獲量が減少するなかで、販路の拡大など魚価を上げるため、漁業者だけでなく、仲買人、行政などと連携した取り組みが今後、さらに必要と考える。

Q 行政等関係機関へ支援の要望は？

A 近年、冷凍技術が発達しており、冷凍を活かした取り組みを行うため、漁協に冷凍庫を整備したいが、経費が高額である。その辺りの支援を要望したいが、まずは、整備後のランニングコストが経営の収支に見合うのか、そういったことから研究したい。



議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
森田 洋子	寺垣 智章	田中 克美	柳 正敏	川口 耕司	田中 伸吾	升井 祐子



今年の夏は統計開始以来史上最も暑い夏となりました。残暑が長引き過ぎやすい秋の期間が短いとも言われています。

岩美町のコスモスロードは、1.2キロメートルにわたってコスモスが咲く秋だけの特別な散歩道。短い秋をぜひ満喫してみたいかがですか。

森田 洋子

編集後記